

かんぽの宿 68年のあゆみ

春夏秋冬…そして春



かんぽの宿

刊行にあたって

2023年1月31日にかんぽの宿恵那が営業を終了し、60有余年にわたる「かんぽの宿」の歴史に幕が下ろされました。

これまで多くのお客さまにご利用いただき、また、長年にわたりご厚情を賜りました。心より御礼を申し上げます。

かんぽの宿の歴史を振り返ってみますと、昭和30年代に簡易保険および郵便年金の加入者福祉施設として誕生しました。以来、日本の各地域に人が集う拠点として位置付けられ、全国にまたがる「郵便」の生業が担うべき「共創プラットフォーム」の先駆的な役割を果たしてきたことは、先人のご慧眼と強い実行力の賜物と敬服するところです。

かんぽの宿は、これまで日本郵政グループが運営し、美味しいお料理、快適な温泉、手頃な利用料と親しみやすいサービスで、皆様から愛されてきましたが、完全に郵政グループの手を離れ、それぞれの施設が新しい道を歩むこととなりました。

日本郵政グループは、今後も地方が抱えている様々な課題の解決の一助となることと、事業としての採算性を両立させるグループオリジナルの事業開発を心がけ、着手してまいりたいと考えております。

これからの時代の先を見通すことはなかなか困難ですが、こうした歴史を紡いできたかんぽの宿の各施設が、新しい運営者の下で時代の変化に即応し、これからも地域の観光や健康づくりの拠点として発展を続けていくことを心より期待しております。

日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長

増田 寛也